

監視隊高
秋吉野
置

ヲ六三ト改ム

青三十一日

午後六時芳 山城丸廣瀬中佐、板敷出港在港
艦船半旗禮ヲス
海州邑 晴 南風力一 四六度
五三度

本島港内ハ霧ト下量 午後港外濃霧ヲ以テ蔽ハ出
入艦船大抵港外於テ俟遊リ

午前八時 艦手吾妻哨官入港ス

午後五時十五分 吾妻哨官哨正向出港ス

乙隊機密第三八号命令ヲ送ス

要旨

監視隊ニ高砂位置吉野ヲ加シテ之ノ及テ其順序日

割等ノ規定ス

胃一日

海州邑

屢霧アリ

無風

五三度
四六度

五九

0916

船隊中
船引揚
船受

船隊中
船引揚
船受
船隊中
船引揚
船受

四月二日

吾等淺間霧為、昨日午前七時十分迄第四集會点附近假泊、夫ヨリ佳地高、

午前九時七分 常磐八雲崎ヨリ入港ス

海州邑 曇 夕風 四十二度

吾等聯合艦隊司令長官ヨリ、艦手高外、出艦ヲ取止メ

吾等淺間明日夕刻哨所ヲ引揚、飯港ス様取計

又、中継哨艦ニ音ビ、令受テ右中継艦新高ヲ通告

艦傳方々

本日聯隊元四号ヲ以テ旅順港閉塞事業ヲ從事スル

下士卒ニ善行章行状、陞級ヲ行ハシ音達スル

聯隊機密モ四号夜、自今罐内水管内部掃除都度

精細検査ヲ行ヒ腐蝕比較的多キ事發見共便宜保

護並鉛ヲ挿入スキ件達セリ

魯國風帆日
外船病院
船中傳達

四月三日

海州邑 曇 夕風 四十九度
四十二度

乙隊七五〇号ノヨリ旅順口在泊東清鐵道會社所屬
汽船モゴリヤラ病院船トスヨトノ佛國公使ノ申越對
ニ異存ナキ旨本海軍大臣ヨリ我外務大臣ノ回答ト
ノ通知ヲ傳達ス

四月四日

海州邑 霧アリ 夕風 五十七度
四十四度

午前十一時五分 吾妻淺間哨区ヨリ入港ス
今夜ヨリ港ヨリ哨艇受持ヲ聯隊機密二八通復シ第
三哨線ヲ第三戰隊受持トス

四月五日

海州邑 晴 夕風 五十七度
四十七度

四月六日

海州邑 晴 夕風 五十七度
四十七度

聯隊機密二七八号ノ官房機密六八号ニ受領
艦隊補足員トテ下士卒三五四名ヲ横須賀ニ香

機密以外
水雷艇隊
行動命令

四月七日

海州邑

晴

イ風

五十六度
四十八度

港丸、吳、台中丸、佐世保、台南丸、舞鶴揚武、米
込、赤、作原、海軍、在、後、會、待、件

聯隊機密三六五号駆逐艦及水雷艇訓令受領人

機密保護密電取扱付キ注意件

聯隊機密三六七号命令受領

要旨

目的、旅順、敵、威、嚇、ス、ル、ヲ

豫定行動、第一第三戰隊(笠置、吉野、吹上)第四第

五第二駆逐隊第十四艇隊蚊龍丸、明、白、午、出、発

左ノ序列ヲ以テ、明、白、九、日、午、三、時、迄、行、進、シ、三、時、ヨリ、六、時

迄、漂、泊、シ、第、四、第、五、駆、逐、隊、第、十、四、艇、隊、蚊、龍、丸、機

械、水、雷、艇、隊、用、意、ス、ル、全、時、行、方、リ、右、諸、隊、旅、順

三進、第二駆逐隊、右諸隊、遊撃隊より第一、第二、第三戦隊、迂路採り、朝夜順方面に進む

三戦隊

二駆逐隊

四砲台

五砲台

七砲台

敵艦丸

天候適良、南洋全隊海洋島附近に退却、二十日午後更、漂泊点に至り、豫定行動を續行す

第三戦隊（海防艦 海防艦）第三駆逐隊、九艦隊、日光丸、

明日九日、午出発、速力十節、以て午後、豫定航路に達

二十日午前六時、漂泊点に達、午前一時、第一戦隊、

會

敵君に出戦、直之、攻撃す

行動了、六名部隊、日午後、田東、南東、約三十哩、退却

0920

天候不良行
動延期

四月八日

去り北方ニ変針シ海洋島ニ集合スルニナリトス但各戦隊
ハ迂路ヲ採リ十百午八時海洋島ニ来リタトス
海州邑 荒天 南東風力中六 五十四度
四十八度

本日は候度悪条件ニ行動延期
午後聯隊停号

四月九日

一、今夜哨艦ヲ出テ防禦網ヲ張ス
二、今夜旗艦ニ准シ碇泊燈ヲ掲グ
海州邑 曇 西風力五三 四十九度
四十四度

天候尚直々ニ行動延期

聯隊法令第五号ニ受領

陸無線電信通信規則

昨夜八雲右錨鎖一節附近ニテ切断セ

莖集合点 曇 西風力二一 四十九度
四十二度

四月十日

0921

和戰隊機
口曾出港

鶴艇長交代

和戰隊夜中
機密航行法
之疑

日進春日港

四月十日

本日行動要引

海州邑 曇

南風方一

五十一度
四十六度

聯隊機密三六七号之飛行全六七号中第三戰隊笠

置吉野ヲ復シ淡間常艦ヲ加ヘ第三戰隊ニ常艦淡間

ヲ欠キ更ニ日進春日及高坂丸ヲ加ヘシ

午前十時三十分 日進春日入港

午後五時 第三第三戰隊并聯隊機密三六七号依リ出發

ス

二戰機密五号訓令以テ第三戰隊夜中航海中敵襲濃厚

以場合際ニ緊急戒法ヲ是テ通達ス

鶴新艇長渡邊天尉赴任旧艇長原田大尉退艇

海州邑

午前晴

展望不良

五十五度
四十七度

午前十時半

第三戰隊出港航行序列左如シ原

0922

速十節

力羅陸隊

沙九艇隊

力示隊

力示隊

日出 各日八 各一 器 昂 西 夜

午前高十穂哨艦上へ出艦、今艦白鷗島電信所無線電信

機、發電機破損修理為、職工杖子ヲ便乗せし

午前十一時 鶴試運転為、先發、港外ヲ本隊ヲ待候

午後一時五分 右艦ニ左、注意ヲ與フ

清國軍艦 艦体紫色、烟突黄色ニ塗替

午後一時五分 日光丸

高坂丸ヲ伴来レト云

(高坂丸ハ、遠望不良ニ夫候際、出港後、勝ヲ之見失フ)

高坂丸ヲ見テナリ

0923

四時

午三時五分 出港向ノ雨降り雷霧覆ル故以

テ以時霧中運動第八号標的準備セム

午四時五分 霧為ノ後續艦困難ナリト認ルキハ

便宜艦尾燈ヲ点セト令ス

午五時五分 殿艦艦手ヨリ白光九午五時ヲ見去

トノ信アリ

全時天候不良リシ以テ艦長艦尾燈ヲ点ス

午後六時五分 午前八時五分 午後九時五分 甲午時五分

午後四時五分 三時ヨリ水際被疑行動セリト電信ヲ

受

午前四時五分 左舷首ノ第一戦隊ヲ認メ又是光ヲ認

見

午前六時五分 第一戦隊通過ノ追

依り日進
 春目多根渡
 前進す
 加藤隊中四島
 山浦
 本島隊中
 領事報告

午前六時半五分 日光丸信号距離近シモラ高
 坂丸如何巨ヤ向シヨ昨日午後四時霧定針路変更
 中濃霧来リ高坂丸見失ク六時五分迄ノ漂着ヲ待
 ツモ来ス上着

仍ラ寧高坂丸後口見見届ケ共ニ過着附近来
 上合ス

(後至リ後方煤烟ハインシ号ナリ知リ)

午前七時五分 田島左艦正横見

午前八時五分 第一戦隊速カ増旅順口方面向ケ

時日進春日呼ク電信感セシ及テ西艦ヲテ列ノ南第

一戦隊ニ合セ云

午前八時五分 當隊漂泊後命ヲ待ク

第五駆逐隊 會々司令ノ報告依リ六時夜敵七個掃海

0925

五驅隊
第一
第二
第三
第四
第五

燈ヲ用ヒ燃言セリ本隊隊尾位置ニ水雷沈置ニ城
頭ニ探海燈ヲ砲撃シタル我彈丸其附近ニ破裂シ探海
燈ヲ消滅シタリ

午前八時五分 大ヤリ一雙帆走ルヲ見シ千早ニ臨
マ原ニ其報告依ハ大東溝ヨリ登州ニ行ク材木ヲ積ル
モノ也

午前八時五分 砲聲聞シ(第三戰隊敵ト交戦セシモノ
也)

午前九時五分 三隻ヲ驅逐艦水雷艦ヲ伴来シ電
報アリ仍テ航進ヲ起シ次第速カラ増シ十二運トシ第一
戰隊ノ方向向今時「主カ」合ス「信号」掲グ「第三第
五驅逐隊」第廿艇隊ヲ列「左側」占位セシト是ヨリ先
日光丸、高坂丸見テ「ト」信号「歸」来リ「ト」及テ更ニ

第六四

0926

本艦隊
二隻
報告アリ

左信号屋へ
ゴノ附近ヲ巡航ニ高坂丸ヲ来レテ待テ

午前九時半
第一駆逐隊司令官ヨリ左報告ヲ受

昨夜東雲云々那船ニ衝突シ艦首ヲ傷ム連ハ右舷
ヲ擦リ二艦共多少ノ漏水アリニ戦闘ハ差支ナシ

午前九時五十分
旅順港口ニ於テ戦闘將近カニナルヲ

虞リ第一駆逐隊外他ノ駆逐隊及雷艇隊ヲ列テ

南進カテ増シ主力ニ合シ本隊ハ漸次五節増シ主力ニ

合シトス以時卓飯隊ヤリ仍テ本隊左側ニ占位セシム

午前十時十分
第四駆逐隊附近ヨリシテ以テ合シテ主力ニ

合セシム

午前十時十分
遇岩北ノ西見漸次ニシテ老鐵山ヲ右舷

艦首ニ見出ス

艦首ニ見出ス

シ
ノ
ロ
目

0927

少戰隊年
依の四島附
近の略

敵機隊
沈没

見九号高
以夜探信也
云

中戦隊三台
に海軍航空隊
の機

午前十一時十分 三番り元位置返り電信より速力
ヲ節減し前漂砲向此時駆逐隊及艦隊の位置が第
五駆逐隊遠く前進し居其信号連入又第五駆逐隊も亦
南方方向向

此頃第戦隊前方非常の煙柱立ち認め後電報
依り敵艦数艘雷撃確し沈没し多し知

午前十一時十分 日光丸の七号高丸を搜索する云
午前十一時十分 煙海入

午前十一時十分 第五駆逐隊向航進し
午後一時十分 命依り第戦隊東側縦列し十

節 三番り今朝六時半第五駆逐隊老鐵山南東
七連多敵駆逐艦一隻沈没せし復撃退せ我々輕

傷者ありし決闘収容せり十時頃敵艦亦少
五

0928

異機械水雷艦の設置にモト認令の春日進ヲ
其隊返入シ信号アリ

午後四時五十分 三隻の報告

高坂丸は日光丸と同行本隊後方より来り未だ見失
霧の爲見失はれ故に日光丸を遣り探り未だ
り来り又昨夜東雲支那船衝突の被害あり
連右舷擦り二艦共多量の海水を被り戦闘航海
ハ甚大ナリ

日進春日本
隊の

午後四時十分 日進春目列方

午後三時五十分 三隻の高坂丸及日光丸ヲ搜索シ

手草を派遣シ甚大ナリ又何處の故来の様余ス

ト信号セシ三隻より第三艦隊の第三集令点の

地点哨艦の音通シト信号及び引續き要高

日進春
隊の

0929

高坂丸
第一地点
第二地点
第三地点
第四地点
第五地点

坂丸第一地点 啓日光丸 卓海洋島 明朝人時迄
飯ラシトトノ信号アリシ

午後二時五分 第三駆逐隊之第一集合同点 飯ラシト
午後三時五分 卓洋ノ訓令ヲ

高坂丸昨日四時頃霧ヲ見失ヘリ今朝搜索ヲ
日光丸ヲ遣リシモ未ダ歸リ来ズ其艦令アリ
増シ西船搜索行ケ搜索得高坂丸第一地点
歸シ其艦ト日光丸明朝人時迄海洋島来シ又第

三駆逐隊ヲ今第一地点歸故昔A地点ヨリ哨
艦無線電信ヲ通知

午後三時五分 卓洋ノ本艦昨夜マストトノ軍艦

旗ヲ掲ケヤトトアルニ信号旗ニ流掲置シ以儀

諒セラシトト信号ニ日光丸高坂丸搜索ヲ

午後三時五分

聯隊信号

午後四時八分 節以今航進必要以外汽機消火等

午後四時針路ヲ東ニ前時北ニ西變ス

午後四時五分

聯隊信号依り單艦陣より五時半

針路ニ東ニ變ス

午後五時五十分

聯隊信号

艦尾燈ヲ出サス

午後五時五十分

聯隊命令龍胆今夜蚊龍丸ヲ連

後ヨリ未嘗

四月廿四日

晴 北東風力二三

四時接

午前四時五分

第一戰隊通跡從北ニ西ニ變針ス

午前六時

右舷艦首二点當り第三戰隊ト早並

日光丸左航スヲ認メ又左舷艦首二点ニ海澤島全横

0931

合衆艦隊

三時五分出港原速カノ節信号ヲシテ全列ヲ出
港第二集會点ノ向

午後五時五分 明白五時ヨリ速ヲテ節増ス信
号ヲス

加藤艦隊

胃喜

海邑 曇微雨 東北風力三由 四時
午後零時五分 第二集會点ノ港

午後三時 本白風強有艇ヲ出ス又水雷防衛網
ヲ張ス

胃十六日

海州邑 晴 東風力三一 四時五分

午前駆逐隊ノ港

午後三時 第一戰隊續テ第二戰隊ノ港入

午後三時五分 左隊隊信号アリ

本自十六時第二戰隊(春日丸)第三戰隊出港

水雷艦隊
ノ港

0933

九龍形隊
浦島行動
ヲ要ス

艦載水雷艇取上

次在聯隊機密第二九九号訓令ヲ領ス

要旨

一 目下濠東方面集中形跡ヲ敵陸軍ヲ浦塩方面
ニ牽制シ若シ好機ヲ見出シ浦塩敵艦ヲ撃滅スル目的ヲ
以テ第三戰隊(春田及海間ヲ以テ)第一戰隊(和泉ヲ
加シ)第一驅逐隊第三驅逐隊附屬艇隊二隊日光
丸金州丸ヲ率テ浦塩方面ニ炭水ヲ補充シタル旨急
速浦塩方面ニ向テ戰行動スルニ但炭水補充ノ事
敵島丸ヲ鎮海灣迄隨行セシム
二 此行動可成ル旨曾シテ結了スルヲ要シ行動終
六隻係着タル敷ニ存テ出航準備ヲ完成シ待命
スル

0934

三日光丸六臨時由艦隊附屬敷設隊員及同隊員

三名乘組

四竹敷第一艦隊諸艦不自當方面北甚と被是

ナリ

午四時五分 第一戰隊 (春日丸) (第一戰隊) (對

出動中) 第一駆逐隊 日光丸 午六時出港 原連舟士節ト

信号シテ 第一艦隊 鎮海灣 出港 原ト

午五時五分 第一駆逐隊 光航 請之ヲ先ト 單獨 鎮

海灣 向トス

午六時出艦ト 出艦後 鎮海灣 向トシ 信号ト

第一戰隊 航行 序列 存如シ

出動 者 皆 艦 士

當時 金州丸 他 艦 炭 火 補充 中トシ 今 般 及 嚴 島丸 後ト

0935

鎮海灣

胃七日

速カヲ増シ鎮海灣ヲ走ラシム

午後七時五分 日光丸ヲミテ単独鎮海灣ニ至ラシム

第四戰隊本隊後ニ續行セシガ港外ニ哨区ヨリ帰隊セシ

對馬ヲ令セリ但對馬機械故障ヲ告シ必ス後ニ令隊ニ

續行セリ

自五時五分 區々風力二三 四五度

午前八時十分 哨区六

午前八時四十分 瓜生司令官ヨリ新高ハシラシニ大

七電ヲ發シ生シシモ見セシ及テ作保ヲシ同艦豫

備錨ヲ搭載セシガ為メ同地回航許可ヲ請ヘリ仍テ同艦

ヲシテ作保通航シ且房水ヲ補充シシ後鎮海灣ニ来

リ常隊ニ戻スベキ事

午前九時十分 司令官ヨリ高千穂機關故障待合

六九

0936

午後三時行くと報あり

午後四時浦上通信の情報なきは同三時三十分迄待せり

午後五時五分 浪速高千穂丸對馬ヲ後方ニ認

本吾聯合艦隊夏長官ニ在り對馬ニ

聯合艦隊旅順口ニ迫り敵艦ヲ沈没功ヲ奏せり

朕大ニ之ヲ嘉賞

四月廿日

鎮海灣 兩曇 黄風力四一

辛酉

午後四時五分入港同時佐世保ヨリ給炭船有明丸先

和泉在泊ヤリ 第四艦隊ニ編入又是日第一駆逐隊先

着せり

午後四時十分 萬戰隊(新澤丸) 嚴島丸 倉丸

入港

午後本隊信号

鎮海灣之港
都心未着
天候相揮下

0937

解

買十九日

鎮海灣

曇々風

辛辰

一、明曾出港、皆石炭積込、為燈火、現差又七

二、出港得丈々多、店炭積込

三、當港、砲台中海、夜便、宜警戒、水雷防集、網張

杏、入港、右、艦、石炭、搭載

午前、時、軍、各、部、長、身、在、情報、受

本月十六日、是、津、津、東京、朝、新聞、社、左、人、電、リ

昨、浦、塩、二、名、威、遠、城、一、名、順、郡、一、名、韓、命

リ、来、リ、其、証、話、綜、合、ハ、浦、津、過、日、砲、撃、三、或

ル、砲、撃、多、少、損、害、受、タ、リ、士、氣、敗、阻、襲、危

難、民、堵、安、セ、タ、シ、其、三、万、六、既、外、在、軍、務、知、事、ハ

日、本、軍、来、攻、メ、テ、抗、敵、の、能、ヤ、時、市、街、焼、捕、満

州、退、却、一、物、敵、手、弄、カ、カ、ス、訓、令、由、是、軍、艦、ハ

上五艦隊
未着指揮
元

晝間港外出ても夜間必港内存彼弄唯頼

下よる他台より本砲撃せし砲台朝鮮人ヲ督令

鹿柴ヲ設て居り九尾糧食未之方又物積ハ

二割方騰賣過其兵數半戦前比増加棟樑志

國境ノキイウスル兵數モ千名足らず唯若手砲

ヲ豈嗣江其地忌之集居ノミ

午前六時 第五艦隊(司令官岡中佐) 高峯鷲二隻

及第十一艦隊(司令官武部中佐) 四隻(港我指揮下ハ)

午前七時 観音丸大浦丸立神丸當艦隊軍需品

ヲ輸送シ来リ

午後七時 岩島丸ヲ海州ヨリ歸港セシ

本有新高田前更港確報得て以明日午后ヲ期懸

艦隊司令官官訓令基浦塩廻行動ス下決

0939

同日午後三時

四月廿日

鎮海灣

晴 南西風力二三

九十五度
五十五度

原速力十節

午前七時方

新高入港

午後 自差測定必要、艦便宜先發せよ午後三時出港
自差測定必要、艦便宜先發せよ午後三時出港

草 駆逐隊 五艘 土艇隊 四隻 魚丸

水三戰隊 1000 水五戰隊

序列

聯隊命令で當艦隊任務ヲ示レ元津於テ俟
補充ヲシテ浦塩ヨリ行動スルニマリ

命令要旨

乙隊機密甚ク兇号命令警急信号及持設信号等
ヲ是ノ之ヲ達ス

0940

出艦全四時港外於テ航行序列シ

出港時佐原鎮守府夏長官ヨリ艦隊帰港際元山

津其他テ炭水補充必要ナル運送船ヲ極メテ秘密ニ燒

送シ置ルキ付テ大約豫定時日及場所ヲ電報アリシ

但シ金州九隻隨行スルテ該府大河内電信ヲ奪他船

ヲ要サレ旨打電セ

午後五時五分 第一集合点ヲA三九地点トシ又左信

号ヲ規定シ之ヲ通達ス

第十無隊ニナケヨ、信号アラハ其隊ハ其後竹敷方

面引返シ今地附近警備任ル義ヲ心得シ

午後四時五分 左側隊ヲ右側ニ台位セシ

午後一時十分

胃廿日

晴

生野

五十六

0941

本島新高對馬機械故障修理付試運轉ト各艦並列
ヲ開シ高速試験ヲテ結果良好

四月廿二日

元山津

午前四時

元山津近キル及テ早左

訓令與先

發セム

便宜速カニ増シ元山先航シ領事館ニ上官ヲ遣リ

電信ノ發送方ニ厳密ニ監督スルノ様依頼セシム

午前九時十五分

元山津入港ス

大木副領事來訪其談言リ當地至テ平穩ナリト其ノ

齋シタル敵情在如シ

三月廿五日(夜)鏡城ヲ立テリ鏡城附近ニ三ヶ雄基

灣ニ百會寧ニ二百兵來リツアリシリ(廿七日)

元山港

0942

夜吉州三城津ヲ燒キ兵遭リ四日(九日)城津附近
ニ三百五十北青ニ向テ高州ヲウケリト傳テリ電信ハ
仗矣余元山行リ

右我ガ其前ヨリ韓人トテ入リ以居居果人發電リ
尙領事ノ意見雄基及會寧ノ兵數多ク大ニ失北青
ニ向レトノ說信ニ何故城津ヲ来リシ露兵北還セザリ疑問
ナリト云リ

高木臨時派遣隊長兼訪々隊員目下元山ニ集中セリト
左隊長口頭ヲ以テ第十一艦隊ノ當港ヲ告リ貴官ト快
謙シ便宜城津以南諸港灣ノ威嚇運動行ハズ訓令
ス奉旨ヲ通シ又當港在泊ル中金州丸便宜右目的ニ使
用シ得ヘキモ申添ナリ

本官必要ノ艦艇ニ炭水ヲ補充セシメ又驅逐隊及十五艇

機材
燃料
水

機材
燃料
水

機材
燃料
水

隊機材雷ヲ裝載セテ而シテ金剛丸炭水補充向當更
炭一五八噸和炭五〇噸水三〇噸ヲ残存セリ
昨夜船内警員外第一艦隊二隻ヲシテ麗島附近水道
ヲ警戒ス

今夜乙隊機材第五号命令及其二三訓令發

命令要旨

敵遭遇母港口水雷敷設スルコト

時機得ル者目ヲシテ間接射撃ヲ行ハスコト

元山ノ帰途沿岸威嚇ヲナスコト

訓令要旨

一部第十一艦隊司令元山ノ根據陸軍守備隊

長ト協議便宜城津以南諸港灣威嚇運動ヲ

行ハサシムルコト以後當港ニ於テ艦隊來着ヲ待ツベ

七三

0944

キヲ訓令(其二訓令)

二浦口集丸監督特校當港止リ必要應ニ艦隊山侯ヲ補充シ艦隊未着ヲ待キ訓令(其三訓令)

尚右外西宮陸軍隊長ト協議結果必要ナルハ集丸ヲ使用スルモ差又キ音口達セリ

又津井駆逐隊員ヲ指揮官トシ時機ニ浦塩港内敵艦攻撃ヲシテ使用スル目的以テ常艦(ベット)ヲ

艦機使用ニ付下ル(キ)ヲ豫合リ
早九時
百廿七
曇霧 北東風一 五八度
五西度

四月廿三日

午前九時出港 航行序列左如シ

- 出番 第一艦
- 出番 第二艦
- 出番 第三艦
- 出番 第四艦
- 出番 第五艦
- 出番 第六艦
- 出番 第七艦
- 出番 第八艦
- 出番 第九艦
- 出番 第十艦
- 出番 第十一艦
- 出番 第十二艦
- 出番 第十三艦
- 出番 第十四艦
- 出番 第十五艦
- 出番 第十六艦
- 出番 第十七艦
- 出番 第十八艦
- 出番 第十九艦
- 出番 第二十艦

元山集丸浦口

0945

濃霧

午前七時五分港ロ出テノ頃濃霧来リ汽笛ヲ鳴ラセ
霧中標的ヲ曳ク正午必シク霧標的ヲ揚

午後四時四十五分 針路ヲ変ニテ旗艦ニテ空砲ヲ発シ
艦合符ヲ曳キ其迄ハ針路ヲ変スカスルト令ス

午後一時三十分 コドリヲ南ヲ南ハ七度西ハ二哩ヲ見
テ針路北東ヲ東トス

午後三時三十分 濃霧襲来(之ヲ標的ヲ流セガ六日
元山帰港前途之ヲ引揚ル時機ナリ)

午後六時三十分 電令
特令アル迄毎夜直哨共ニテ警戒セヨ

午後六時五十分 電令
霧間普通ノ艦尾燈ヲ出シ霧晴次第之ヲ消ス

無線電信通シ艦最寄ノ艦ヲ便宜傳達

二〇五

0946

四月廿一日

七三

午後四時十分より約五分間毎十分間宛揺海燈三回
ニ莫ク

午前七時五分 霧少シク薄キ警戒燈出シ

揺海燈ノ点燈ヲ中興

午前七時五分 霧北東風力一二

午前七時五分 濃霧未散汽笛鳴ラシ三時五分

頃ヨリ又電燈ヲ点ス

午前七時五分 暫時霧晴

午前七時五分 駆逐隊及艇隊ヲ本日午後〇点浦

塩濱定機動点(着込后)行動開始ヲ訓令ス

駆逐隊艇隊本隊迄キ喇叭到達距離ヲ航行中

若シ旗艦ヲ空砲發シ警告符吹クハ本隊進

0947

路ヲ南東ニ変ス

其隊之ノ間ニ其後直進ニ集得テハ霧定行動ヲ起
セ若シ霧ノ為ニ出来サハ霧晴ニ待テ天明後アソト
附近ニテ本隊ニ歸リ千早列後方ニ列セシム

今時千早ヨリ列後方ニ位置ヲ取り日光丸ト連絡ヲ保持シテ
行進セシム

午前八時 D点到着時早ニ過ルニ以テ速カク又節々

午前九時 左電令ヲ與フ

千早今ヨリ列後方ニ位置ヲ取り日光丸ト連絡ヲ
保持シテ行進セシム

午後出雲ニテ空砲發射ヲ暫合符吹カハ直ニ針路ヲ

南東ニ變シ午右豫定ノ行動ニ從ヒ針路ヲ變シ明

朝アスヨリト島附近ニ行ク但針路ヲ變スルハ空砲發

七五

0948

引續キ濃霧
濃キ霧中
行動
ノト能ク南下
ス

右符ヲ知ル艦手浪速ハ空砲ヲ受繼ギテ駆逐隊艦

隊ハ七ノヲ豫定行動ヲトシテ直進セシム卓對馬ヨリ

通信ヲ日光ニ傳ヘヨ

午前九時三十分 霧晴各艦艇ハ自認セシムトヲ得タリ

午前九時五十分 原速カ七節トス

午前十時五分 電令

旗艦外已ラ得セ場合ニテハ無線電信使用ス

ベラス

午前十時半 天候適良ナルル以テ常速ニベラス

軍装ヲ止セシム

午後一時濃霧散末

午後三時五分 天候ニハ到底豫定行動ヲ更行シ

ハセ以テ左電令ヲ發ス

0949

前命令ヲ取消ス午四時半整合符ヲ吹テ針路ヲ南ニス

驅逐隊艦隊全行快命令ノ最寄ノ無線電信ヲ船ニ傳ヘヨ

午四時半 濃霧中針路ヲ南ニ変ス

以時整合符ヲ鳴ラシ探海燈ヲ点シ奏樂及喇叭吹奏

花ニ塵埃等ヲ流サシム

午六時十分 霧必シク薄ラキ諸艦艇ヲ認ムコトヲ得キ

午八時十分 三十分迄濃霧アリ時探海燈汽笛ヲ用ヒ又普通艦尾燈ヲ点ス

四月廿五日

推測 四時十分 五十二度
五時十分 四十七度
霧物 午前南東風力一
午北西風力一

午前六時三十分頃霧必シク薄ラキト雖モ第四戰隊見

七六

0950

天幸、為、浦
山、動、出
元、出、向

六時四十五分又濃霧未
六時四十五分又濃霧未

午前七時方電令十二節對汽力保其其他消火
セ云

午前八時五分ノ天候様子ニテ再北北北ニ豫定行
動ヲ遂行スルニ適存ニト決シ應元山津歸港ニ炭

水ヲ補充シ天候定ニルヲ確メ行動ヲ再興スル決シ候
艦長電令ヲ發ス

霧晴次第ノ地点(碓氷灣)ニ向ノ其時ヨリ原速
カヲ十節ト又針路ハ其時亦

此頃濃霧四塞後續艦見テ但笛声依リ第
四艦隊漸近シキ本隊右舷後方ニ速カニ航行

シワアルヲ知ル

午前九時 霧少シク晴レ十五 艦隊ヲ艦手ニ横付シ

炭水ヲ補充セリ

午前十時 霧暫時霽シ第四艦隊漸ク列スル今五

十五分南七七度西変針永興灣向原速カテ節

午後四時 霧少ク晴シ今時速リ又ノ節トス

午後五時五分 又濃霧ナリ

四月廿六日

元山津

午前霧

西風カ一

午後

午前六時

霧薄クモク及テ十二節ト九時四七分霧

島及麗島ヲ認

午前七時

港口近ク駆逐隊艦隊ヲ便宜ノ港セシ

ム

午後零時五分

元山港葛麻半島ヲ交リ先

入港セシ朝潮ヲ港内留敷設テ恐カリトシ信号ヲ

元六港前
日清艦隊
所集艦隻
ヲ得

掲テ其ノ見仍テ港内ニ入ルヲ其儀要方進テ其
直艦敷水雷艇ヲ卸テ其ノ庫ニ港ヲ掃海シトス其
時領事館員來艦左報告ヲス

四月廿五午前十一時頃安中沖合於テ黒烟ノ見
見シガ七時頃露國水雷艇二隻突如入港シ未
リ其日午前八時頃北方ヨリ着港セシ五洋丸ノ向ヒ
進行來リ直艦來領員ノ上陸ヲ命ジ其上陸終
ヤ直艦形水雷艇ヲ卷シ十二時三十分該艇ヲ撃沈セリ
而テテ時葛林浦ト新島ト間ニ露艦ガ尾ホイ
クモリノ一ツツト覺テ三隻ヲ碇泊シ居リテガ撃
沈後水雷艇ト此艦隊ト合シ午高時新島北ニ
向テ去リ

此日午前六時金州丸當地岫巖中一個中隊ヲ來

七

0953

二艦隊軍旗
丸尾南軍旗

七我水雷艦隻下共北向レ前記擊沈セラレタリ五洋

丸港運次午前七時頃港外於テ出遭ヒトホリタ

又軍令部長司令様電報来リ居レリ

仍直艦艦士運速カヲ保タシ第二戰隊及駆逐隊ヲ

率止第十艦隊及金州丸搜索ヲ兼テ急速浦塩港現ハレ

敵ヲ拒セントシ出港準備ヲ存セタリ(一時五五分)

暫時テ第十艦隊港口現ハレ歸港シ其報告大要左

如シ

同艦隊昨廿五日午前六時陸兵中隊ヲ乗セテ金州丸

掩護シ示威目的及テ利源上陸ヲシカガ今泊地

向午三時無事同泊地ニ達シ中隊ハ上陸目的ヲ達シ再

ビ乗船上午六時左泊地ニ出發共元山津向テ然ル

利源碇泊中長濤漸次港内ニ入り来リ艦動揺甚

0954

且午後三時晴雨計三時十五分午後四時五分迄
 急降下二十九叶九より仍夫候不穩ヲ豫想シ全
 艦隊渡湖ノ介碇泊シ金洲丸單獨元山津向リ全艦
 隊渡湖ニ泊シ今茲歸港セリト
 而シ全隊露艦隊元山現ハタルコト及金洲丸安否ヲ関
 コトハ必モ知ザリシ仍直ニ金洲丸搜索ヲ為シ出港ヲ策シ
 午後四時三十分左艦隊出港ス
 予早クテ港外ヲ警戒セシム
 以碇取ヲ綜合シ敵元山急襲後浦塩歸港シタルモ
 ノナラント想定シリ仍テ第一艦隊以テ之ヲ追蹙スモ敵ハ
 既ニ浦塩ノ港外ヲト思考シ明モ日午前七時全艦隊
 出港海岸近ク新浦沖ニ至リ金洲丸ヲ搜索シ夫ノ力点
 ニ向テ右予定行動ヲ取ラント決定シ今ノ松田灣ニ碇泊シ

0955

轉送各船

今夜元山測候所天氣微霽の間に自下探り先
の音向平穩見込なり返答得たり

又領事官に情報を送り

北青島岸新昌出ると本邦偵察官得る情報本
日(廿五)午後六時烟突一本楯永水雷艇五隻北

方通過

冒甚目

午後三時

晴時霧あり

正風力二三

新

西浦向

午前九時出港金剛丸踪跡不明とシテ海岸に新

浦中達基の前面通りD炎到達の以後部隊

突進行動セリ但前面の如く向射する濃霧に遭

遇多数艦艇銃具保安上甚々懸念堪せり

及今後ノ左ノ便アリ

二七

0956

<p>一、驅逐隊艇隊浦塩濱ヨリ行動起シ、場合次第浦 艇隊ヨリ合ヒテ能ク直松田湾ニ帰ル</p>	<p>二、高徳和泉及見丸敷設置事業カニ為リ行動起 シタル後、霧遭ヒ主隊見失、諸艦艇主隊ヨリ ルヲ求メ、適宜迂航路ヲ取リ、各群單獨ニ航行シ、松 田湾ニ帰ル</p>	<p>三、諸艦艇主隊ヨリ見失タル場合、其地点何レナル ハ、松田湾、岐ノト、楚ノC及S地点集會件ヲ 廢ス</p>	<p>四、艦艇北進中濃霧遭ヒ行動ヲ續行シ難シト認メタル 場合、再舉テ期シ行動中止シ、松田湾ニ歸ル、霧 消シタルハ、某士艇隊歸港セシメ、會入、其報告ヨリ、 翌日早時新浦達ニ馬養火道通過港内ヲ搜索シ</p>
--	--	---	---

0957

七瀬隊
下
新島

新島
偵察隊

九時敵十時前時港分隊東向に皮高戦闘
働作不適當と見ゆ唯今茲歸着せり而も金州丸見不
下仍元口連船戸與り(九時五分)

金州丸未歸其隊金州丸搜索任務與へ
本隊今浦に向其隊石炭六八割源附

近迄金州丸存否不明搜索其結果大本營
電報に本隊帰待りし石炭不足十六元出戻

ヨリ和炭ヲ搭載し金州丸搜索任務充分遂行せし
右隊依り十二艇隊直引込し金州丸搜索趨けり

港外に警備中し早列
九時四分 全艦隊訓令あり

其艦便宜速力増し新島港近し其附近に金州
丸有無見届く本隊三時半頃其沖合に

新浦の金州丸也

今艦直速リ増シ海岸迄前進ス

午後四時廿分本艦今馬養島南約五哩ヨリ附近

ニ似テ浮クヨリコレトモ見止マシテ一石炭積要ス木製

トシ、如キ流シ行リ見タリ拾ノ時様ヲ失シタリ後ヨリ未

諸艦注意シタルヲト無線電信ヨリ今艦任務ヲ了ヘ

午後四時列ノ左報告シタ

新島ノ渡瀬内迄搜索シタリ何モ見止リ利源港ニ

モ何モ見止

午後四時廿分 霞ヨリ帆具ト覺レ白ク墜リタル木破片

漂流セル見タリ今時春日ヨリ一時三十分本艦ハ側ハバケ

ツスブーレ、デウキハム、ノ壊セラレキモノ漂流スル見タリト

報告人依テ霞ヨリ直ニ漂流物採取ニ往リテム霞報告

馬養島南
方ニ此島ノ破
片漂流

0959

傳馬船便

ニ依ル水扉一枚附根ヨリ商ヨリ別輝痕ニ有ル船
員便所ト思ヒト依テ同艦ヲミテ之ヲ保存セシム
午後五時四十分 浪速及曉ヨリ漂流船アリト仍テ曉
偵見届ケシム又艦手ヨリ駆逐艦ノ左舷側ニ傳馬船
ノ如キ流行ケリ人ノ乗リ居ラスト報告
曉報告ハ左ノ如シ

一三八度五五分 四度五分 推測位置ニ嵐色ノ
傳馬船一隻アリ其内物品ヲ調査シ三十五年ノ
海軍銃剣一帯革一海軍官給靴一金洲丸照
督將校ノモラシモ日記一冊士官用ラシモ靴一足アリ
タリ以上ノ物品等本艦ニ収容セリ艦内ニ血ノ
跡ヲシキモノヲ認メス

右諸報告ヲ綜合スルニ金洲丸ハ敵ニ遭遇シタル疑ナシ

7. 北條 遼東 遼東

同船沈没セラレシガ又ハ敵ヨリ逃レ揚岸シカニ者其下
ル又乗員ノ如キ陸上ニ逃レシガ又潮流及風候
ノ様子ヲ想像スルニ其避難場所ハ遮湖以北トモト想
定シ午九時十卓ニ左ノ訓令ヲ與ヘ金州丸搜索ニ從事セシム
「駆逐艦報告ニ依テ一六度五十五分四十五度五分ニ
ノ報告ヲ通り」仍テ察スルニ金州丸敵艦ヲ見レヤ否ト北
方ニ避ケテ海岸ニ乗リ揚ケ其ノ乗艦ヲ乗リ揚ケんモ
カト思ハ其艦天明迄仲后ヲリテ早朝フルト岬近
クモ隅ノ海岸ヲ搜テ南下シ元山歸リ其結果ヲ大本
營ニ報告スル元山言松田湾ノ奥ヨリ岩ノ敵艦隊
會ハ出来得限リ本隊通信スゴトラカミシ
本隊ニ九日若元山向敵地ニ登ル豫定アリ午九時子
早列ヲ開

ハ一

0961

新丸敵遭
五十三度
四十九度
午後四時
午後五時

午後四時廿分 新丸敵遭ヒト明早リト認メル母キ

其書類敵手ニ送リタチノ懸念ヲ以テ明夜主隊行

動ク左如改メ之ヲ通達ス

D地点ヨリ六時間南方一時間東ト其北ト翌朝至

又D点以右日光丸ヲ艦手後ニ章ヲ對馬後附ク水

雷敷設置位置ヲ左如改メ日光丸ハ海図三七七ノ五

叢島ト書キマルニ一字ノ東三ニ尋符上和泉ハ白水

海峡中央外方ニ五尋符上高千穂ハカリリ水

道ノ南レイトリツフト書キアルトス

午後四時五分 自今旗艦外何分存アルマテ特設信

号外無線電信使用ヲ禁ス

四十三度。 午前四時 南風勇一三 五十三度

午前四時十五分 午前四時 四十九度

四月廿八日

二頁

0962

對馬復修
故障修理
帰ル

東洋及艦隊
前進

午前十時廿五分 浪速ヨリ對馬左舷機復水雷漏水長

時間検査、信号ヲナシ對馬修理為メ佐世保面航、

上同地ニテ原ヲ待テノコトヲ^機旨付テ之ヲ許可與ヘシ

午前十一時十五分 對馬南方ニ航路ヲ取リ佐世保ニ向

第四戰隊ヨリ艦隊區分変更ノ届出

一浪速 二新高 三和泉 四高士穂

北小隊 南小隊

午前零時五分 敵地ニテ故知ヲ出サシ様注意ヲ與フ

午前時廿五分 半速カトシ航行中日光丸ヲシテ十五艦隊

石炭ヲ補充セシム

午前四時廿五分 半速トスルニテ左舷艦ニ点半ニアリ

島ヲ発見シ今三十分今島西端ヲ北甚度東ニ浮見テ

針路ヲ南ニ變メ五時ノ莫ニ連ニ艦隊ヲ浦以東

0963

警備隊

四月廿九日

口三連マシム

午前五時三十分 八節に五時三十分針路ヲ東(推測北甲一
度差)東百三度(七十分)十一時(推測北度)東百廿度
ニ七分)針路北ニ変ス

午前時五十分 霧少ク来リ三時三十分濃霧トシテ仍テ

霧晴シセハ四時整合符ヲ吹キ、針路ヲ南西ニ変スト令ス
然レモ三時霧晴シテ其後行動ヲ進行ス

午前五時 漸次速カラ十三節トス六時左舷船ヨリ 駆

逐隊水雷艇隊帰隊スルヲ見知ス六時三十分コト島燈

見ス依テ五隊ヲ右方ニ占位セシム

駆逐隊員ハ在報告ヲス

スプリングラ島南方湊處ニ故障ナルヲ置了ル敵

探海燈内方西岸ヲリテ作業前岸ニ於テ探照セシム

0964

見セラズ哨艦哨艇を模様

午前六時四九分 視界約五哩余にて水平線見透し好し

カヲガルヲ以テ(ヨ)中矢候ナリ(戦闘部署)就カレテ要

具ヲ備へ潤散セシム後ニ直哨兵ヲ配備遊覧セシム

午前七時三九分 日光丸ヲ三列ヲ南ニ誘導地線水雷

ヲ沈置セシム駆逐隊艇隊ヲシテ全行掩護セシム

午前九時十九分 日光丸誘導地線ニ水雷敷設ヲ了ル此

時日光丸ヨリ見タトヨリ依テ敵水雷艇ニ度ニテテモト

誘導出テシト云

主隊敷設掩護中単縦列ヲ便宜速カト針路ヲ取ラントシ其

日光丸敷設線近ニ左舷ニ雷ヲ変シ續テ和泉高千穂敷設

ヲ掩護セシム為メ適當ニ針路ヲ採リ九時三七分浪速ヨリ

敷設水雷漂流スル報告アリ新高高千穂和泉之砲撃

日光丸水雷
ヲ沈置ス

0965

東海軍
沈置

浦
山向

スル見仍テ正面南急変

春間接射撃、本日天候遠視適シテ成功ヲ期シ難

ク且敵敷設水雷悉ク見テ断然見合又和泉ヲ

テ豫定敷設線近カシモ又左側敵敷設水雷

恐リ仍テ和泉敷設止高士穂ヲ決行セシ決主隊

適當針路変高士穂敷設線遣駆逐隊艦隊

掩護ヲ行午四零時高士穂故障沈置

了セリ

仍テ之ヲ浦方面行動ヲ止メ又水平線見透シ向ヲ

ホセト湾近ク航行シ不利ヲ認メ一時高士穂針路南西

南上南下

午南西方ヨリ来長蛇高キ以テ駆逐艦隊ヲ風下位置

午四六時左信号ヲ

艦ノ口

0966

明朝霧際會兵午前五時針路ヲ南西ノ西ヲ西ニ
變針ス其時汽笛ヲ鳴ラシム

四月二十日

本夜日光丸ヲ第四戰隊後方ニ位置セシム

三九度半ノ風 曇時ニ薄霧アリ 西南西風方ニ 五時

午前五時十五分針路ヲ南六十四度西トシ永興海軍

午前五時半五分 驅逐隊艇隊ヲシテ便會變針差支テ

下ヲ信号ス

右依リ驅逐隊先進ス

午前六時ヨリ原速ヲ節ス

午前六時五十分 左舷船一点ニ白煙ヲ端舟一七時右舷

三點ニ左舷端舟一ヲ発見シ高千穂和泉ヲシテ之ヲ拾取セシム

高千穂報告(雲雀ヲ受給)

端舟羅馬字綴テ金州丸ト記シテ中ニ「ライフ」トヤケト

高千穂和泉
係船一海流

0967

五六吳海兵國ペンデントに附シタル水着帽二從軍記
章一暮言一外套頭巾一アリオールクランツナ及船供アリ
オール數不足艇内外血痕ナシホルトクハウニ多
ト記アリ

又高千穂ヨリ採取
端舟人魚丸第三ガッターニミテ中ニ艇
具も合テニ由点ノ品物アリ委細書面ノ信号アリ

積泉報告

漂流船採取了ヒリ金州丸第五ライフボートニミテ中ニ
ライフビヤケウト五燒五ゴラツナヲ備アリ外ニゴラカ
ケニスハケウニマルノミ

午前時五七分 使用ノ外ノ罐ヲ消火セム

午前九時 傳馬船隻漂流不之認ノ雲雀ヲシテ見届ケシ

其報告左ノ如

一

0968

漂流し居りたる濃濃色を率く傳馬船にて舷側

赤塗具を金字に記ヤリ金州丸をトビシ船体は

ヨリ弾丸を受ケルモノ如く破碎せし底板を掃

し残留物に記号を付シトブラシ一枚持来

午後三時五分 碓泊所都合依り第四戦隊日光丸ヲシテ

前進し本隊より先碓泊せし

入港前ヨリ松田博ヨルル千早無線電信以テ金丸情

況及情報等ヲ聞合シタルモ無線電信故障アリシト入

港迄迄要領得ガリ

午後五時五分 投錨 碓泊陣形左如し

第四戦隊 猪島西端ヲ正北九味南ヲ西北西点ヨ

リ東北ニ第一戦隊 猪島南南ヲ西北西点南

西ノ南点ヨリ南ノ東ニ碓泊ス

松田博
ヨルル
千早
無線
電信
以テ
金丸
情
況
及
情
報
等
ヲ
聞
合
シ
タ
ル
モ
無
線
電
信
故
障
ア
リ
シ
ト
入
港
迄
迄
要
領
得
ガ
リ

0969

浦外艦表配備

第三戰隊司令第三号艦

要旨

一哨艦一隻之午前六時ヨリ午後六時迄麗島沖ニ出ス

二ベテツト一隻ヲ以テ日没ヨリ日出迄(霧ノハ日中ト

星) 虎島南西南ト山錐角ノ間出スエト等

其日笠尾節佐世保鎮守府ニ請求セシ石炭船太郎丸

二十六観音丸石炭及軍需品搭載シ麗島居リ又向衣

糧科ヨリ上等筆記名出張シ来リ當艦隊入麗迄ニ及其

右生糧品ヲ集買シ各艦ニ配給シ以テ大便利得タリ

投錨後大本營聯合艦隊夏長官ノ行動概畧ヲ報告シ

併テ今向水隊ノ行動就キ至急何方ノ指令ヲ乞ヘリ

千早及第十一艦隊ノ金州丸搜索任務ヲ了ス本向水隊

先チ松田灣ニ帰港シ千早其結果ヲ大本營ニ報告セリ

一六五

0970

軍艦
遭遇
記

左如し

敵艦隊ト遭遇セバ廿六日午前十時頃ニテ敵ハ金州
 中史ノ挾ニ言語ヲ聞カシ近キニ及テ船長ハ先ツ陸
 軍兵ノ現出スルヲ禁シ然レテ船長ハ英語ヲ以テ敵ト
 談話ヲ交換セリ見テリト敵ハ金州丸ト向テ時間猶
 豫ヲ与ヘ船ヲ見棄テ露國軍艦ニ来レド余レシ
 ハ船長端舟ヲ下リシ監督將校及主計長ヲ伴ヒ敵艦
 ニ赴キテ如シ船員モ端舟ヲ下リシ敵艦行キ収容セ
 ラレシモノ、如シ其内ニ時刻モ移リ敵艦ヲ將校ニ水
 兵二三来リ下甲板ニ下リテ陸軍兵アルヲ発見シ類リ本
 艦ト談話ヲ交換シ去レヤ否ヨ水雷艇ヨリ第一水雷
 発射シ爆發ノ響ヲ聞キ漏水甚シク下甲板ヲ浸シ来リガ
 故ニ甲板出テ遊シ其ノオモカラザルヲ覚悟シ各自敵

0971